

ミナミアオカメムシ (southern green stink bug)

Nezara viridula



ミナミアオカメムシ成虫



ミナミアオカメムシ幼虫

発生生態

成虫の体長は12～16mm、体色は緑色で、触角第3～5節の前半部は褐色です。成虫と幼虫が穂を吸汁して斑点米を発生させます。南方性の害虫で、京都府では2010年に水稻で発生を確認しました。

防除対策

出穂前の畦畔の草刈りや、出穂前後の薬剤防除が有効です。他の斑点米カメムシ類に比べて体が大きく吸汁量が多いため、少数でも被害が大きくなるので注意が必要です。